

## 会議録

会議名 (審議会等名)		令和5年度第3回津久井地区公民館運営協議会		
事務局 (担当課)		生涯学習部津久井中央公民館 電話042-784-3211 (直通)		
開催日時		令和6年3月15日(金) 午後7時～8時		
開催場所		津久井中央公民館3階研修室A・B		
出席者	委員	13人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	3人(館長代理、主事)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 令和5年度事業結果及び補助金決算見込みについて (2) 令和6年度事業計画(案)及び補助金予算(案)について (3) その他 ・津久井地区まちづくり会議委員の推薦について 4 その他 5 閉会		

## 協議経過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

### 1 開会

定刻となったため、会議を開始した。

### 2 あいさつ (会長)

お疲れのところお集まりいただき感謝する。

ほとんどの公民館事業が終わり、先日公民館まつりも無事終わった。昨年度の公民館まつりは暖かく大勢の人が来たので今年も期待していたが、今年度は寒かったせいかな昨年度の半分ほどの来場者数だった。

今年度もいろいろと事業をやってきたが、その中でも津久井中央公民館の特色であるホール事業を多く行ってきた。明日以降の事業としては、20日に最後のホール事業と23日に子ども将棋教室がある。今月行った将棋の駒づくり教室は、人数は少なかったが、私も一緒に縁起の良い左馬の駒を作った。少し子供には難しかったので、来年度は大人も混ぜての開催を検討している。

また、公民館の建て替えの話も出ており、公民館まつりでアンケートが行われたが、あと2、3年はこのまま事業を行えると考えている。ホール事業をメインに行っていくので、引き続きご協力をよろしく願います。

あいさつ後、副会長の進行により議題に入った。

### 3 議題

#### (1) 令和5年度事業結果及び補助金決算見込みについて

館長代理が次のとおり説明を行った。

今年度の事業は7月の「つくいっこお泊り隊」以外は開催した。

先ほど高井会長からも話があったが、公民館まつりが3月2日に開催され、来場者数は455人と昨年よりも少なかったが、アンケートでは盛り上がっていたという意見も多かった。今回初めて展示場所をホワイエから研修室Cに移した。研修室A・Bでの体験部門に参加した方が休憩中や終了後に研修室Cの展示を観に行き、人の流れが良かったと聞いている。ホワイエは広いので使いたいという意見もあったが現状では難しいと思っている。

3月中に、20日に「サククスで聴く映画音楽」、23日に「子ども将棋教室」を実施する予定である。また、青根公民館では明日16日に「お楽しみ会」が開催される。ロビーでは現在「津久井書道展」が開催中である。

次に、運営協議会の令和5年度収支決算書案だが、補助金として133,000

円の収入があり全額支出する見込みである。

特に質問はなく、了承された。

(2) 令和6年度事業計画(案)及び補助金予算(案)について

館長代理が次のとおり説明を行った。

来年度の予算については3月19日の市議会本会議で採決される。公民館として計上した額についてだが、今年度と比較すると新聞代と館報印刷費の値上げに伴い増額をしているものの、委託費や講師謝礼など事業に関わるものについては少し減額している。

来年度事業としては、アンケート結果などから継続してほしいという声が多かったもの、今年度初めて開催した子供を対象とした事業等を引き続き実施したいと考えている。津久井中央公民館の特徴であるホールを活かした事業や、今年度実施に至らなかった青野原地区での事業が課題であると考えている。

来年度の補助金予算については、今年度と同じ133,000円と聞いており同額で計上している。支出については、昨年10月の法改正でバスの借上げ代が3割程度上がっているため、他の部分を少しずつ減額しバス代を増額している。

委員から次のような発言があった。

○将棋の駒づくりについて、今年度は青少年事業というくくりだが来年度はどう考えているのか。

●今年度行ってみて、大人も一緒に参加する形が良いと感じたので、来年度については子供を中心に大人も含めて開催しようと思っている。

○以前、出前公民館というものがあつたが、現在は青野原地域だけという認識でいいのか。

●過去に鳥屋で行っていたが、現在は地域で十分に様々な催しを開催しているので、公民館が実施しなくても大丈夫であると考えている。青野原は事業を行う会場がなく開催がなかなか難しい現状であるが、地域の婦人会や農協が開催している事業があるそうなので共催も含めて考えていこうと思っている。

○郵便の価格が上がるので、今後は経費を削減するため、運営協議会のお知らせなどは、封筒ではなくハガキでいいのではないか。

●了承していただけるなら来年度からはそうしていきたい。

その他質問等はなく、通知はハガキで送付することを含め了承された。

### (3) その他

- ・津久井地区まちづくり会議委員の推薦について

館長代理が次のとおり説明を行った。

津久井地区まちづくり会議委員の任期満了に伴い、次期委員を1名推薦してほしいとの依頼があったので御協議いただきたい。令和3年度にも依頼があり、高井会長が推薦されている。

高井会長に継続してもらいたいとの声があり、満場一致で承認された。

## 4 その他

- ・津久井総合事務所周辺公共施設再整備に係るオープンハウスの実施結果について  
館長代理が次のとおり説明を行った。

3月2日の公民館まつりで、事業担当職員が来場者に9月に策定した再整備事業の基本構想の概要を説明するとともに、基本構想で示すモデルプランや新しい施設で行いたいことへの意見を聴取した。

結果は、モデルプランに対しては67人が回答し、一つの複合施設として建て替えるプランを選んだ者が全体の半数を超えていた。新しい施設で行いたいことに対しては150の意見があり、ダンス、コンサート、楽器演奏といった音を出す活動と読書のニーズが多くあり、現在ないものとしては休憩、お茶をする場のニーズが全体の中で最も多く、子供の遊び場やキッチンカー等の屋外イベントのニーズも多くあった。また、10人以下での活動を見込む意見が全体の7割程度を占めていた。

委員から次のような発言があった。

○この件に関しては、来年度に大学の教授等を含めて検討委員会を立ち上げ、3つの案から検討することになっている。先日、市の担当者と話す機会があったので、これまで2年も会議を重ねてきて今更我々に3つの案の中からどれがいいかと聞くのは違うのではないか、まず市がこの案にしたいという意見を示した上で我々の意見を尋ねてもらいたいと伝えてきた。

会長も一緒に参加しているので承知していると思うが建て替えとなると、何年かは公民館が使えなくなる。我々としては、使いやすい方向に出来るだけ持っていきたいと思っている。

最終的には市が予算の範囲内で案を決めることであり、どこまで我々の意見が通るか分からないが、可能な限り交渉をする。何か意見があれば、言っても

らいたい。

○特色であるホールは残るのか？

○ホールは残してくれるよう交渉している。今の公民館の場所がイエローゾーンに入っているので、上階に設置して避難所として使用したいという意見があり、城山のもみじホールや串川地域センターにあるホールのようなフラット型が有力である。

○集いやすいというのは大事なので、是非ホールは残してほしい。

○芝浦工業大学の学生や教授も色々と案を出してくれた中で、基本構想にあるような案が出てきた。

○大学生の案も夢がありとても良かったが、徐々に現実的な案にまとまってきた感がある。

○行政と公民館が一体となって、使いやすいものを作っていけないといけないと思っているので、微力ながら頑張りたい。

○2年目だけ会議に参加したが、かっこいい部分だけが先に出てしまっていた。カフェや食堂があった方が良いという意見もあるが、本庁の食堂はあまり人が入っていない現状がある。カフェや食堂を作るなら専門の職員を配置して美味しいものを提供してもらわないと意味がない。

休憩室もあれば良いと思うが、総合事務所に行った際に、廊下で事務をやっていることが多いので、そういった内容のものこそ、部屋を使ってもらいたい。行政の組織としてどうしたらうまく動くかを考えて、部署の配置などは先に示してもらいたい。

○先ほども言ったが、市の考えを先に示してほしい、それを聞いた上でこちらも意見を言いたいと伝えていきたい。

○運営協議会について感じたことを言ってよいか。以前、公民館のつどいに参加して思ったが、今は地域性がなくなっている。地域性がなくなってくると、近くの人が公民館を使わなくなってきた、貸館主体になってきてしまっている。

平塚の公民館への視察で新たな発見があった。視察にこれだけお金を使うのであれば、視察先の情報を前もってインプットしておいて、自館との対比をしてから視察に訪れたいと思う。地域性のことをもっと考えたら、もっと地域に密着した公民館になると思う。

●視察については、今後も先進的な公民館への訪問を取り入れていきたい。

○もともと公民館は本館、分館というものがあつた。分館は地域の人たちにとって身近で、集まりやすい場所だった。今は公益的になっているから、地元の人が以前よりも使いづらくなったように感じる。地域性がなくなってくると、地域の人の参加も薄くなっていくように感じる。

○確かに、地域に根ざした公民館とは言っているが、公益的になっていることは多いように感じる。

○串川などは、相模原市と合併した時に、地域の人が部屋を取りづらくなったというような話もあった。公民館だけではなく、地域性というものが欠けてきていて、公益的になっていると感じている。

## 5 閉会

その他、特に発言等がないため、閉会となった。

以 上

## 相模原市津久井地区公民館運営協議会委員出欠席名簿

No.	役職	氏名	所属等	出欠席
1	会長	高井登志子	津久井中央公民館長	出席
2	副会長	松本雅之	青根公民館長	出席
3	委員	神原由香里	津久井中央小学校長	出席
4	委員	佐藤和子	津久井地区子ども会育成連絡協議会	欠席
5	委員	熊谷弘	津久井地区自治会連合会	出席
6	委員	板倉忠臣	津久井地区老人クラブ連合会	出席
7	委員	柳川要造	津久井地区社会福祉協議会	出席
8	委員	森田正紀	津久井観光協会	欠席
9	委員	松井智子	公民館利用団体	出席
10	委員	渡辺初枝	公民館利用団体	出席
11	委員	柳川太造	学識経験者	出席
12	委員	佐藤秀子	学識経験者	出席
13	委員	宗像喜美一	公募委員	出席
14	委員	町田和子	公募委員	欠席
15	委員	伊藤守	公募委員	出席
16	委員	溝口健次	スポーツ推進委員連絡協議会津久井地区	欠席
17	委員	盛島明美	青少年指導委員連絡協議会津久井地区協議会	欠席
18	委員	山品紀美代	津久井地区健康づくり普及員協議会	出席